NIE実践報告

1．タイトル：**「柳北地区の今をたずねよう」（職場体験）新聞をつくろう**

2．学校名

山口県柳井市立柳北小学校

3．実践者名（代表者名）

杉岡益子

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・国語　19人

6．単元（本時の学習課題）名

「柳北地区の今をたずねよう」（キャリア教育）

7．目標(狙い)

柳北地区の職場に関心をもち、自分なりの課題をもって仕事を体験し、観察・質問などにより情報を集め、紙面構成を工夫して、来年の6年生に向け、職場ごとの新聞をつくる。

8．評価の視点

自分の課題をもって職場体験や観察・質問し、働く人々や友だちや自分自身の仕事へのかかわりをもとに、工夫して新聞にまとめ、今後の在り方について考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「柳北地区の今をたずねよう」「みなさん、ありがとう」[総合的な学習の時間：32時間]
「構成を工夫して書こう」（教科書教材：東京書籍）［国語：8時間]

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①各自で3つの職場、いずれかひとつについて新聞にまとめる。（2時間）
②一人ひとりの新聞をもとに、職場体験報告をする。（1時間）
③職場ごとのグループに分かれて、新聞作りの計画を立てる。（1時間）
④体験したことや、集めた情報・資料の整理をし、新聞作りをする。（4時間）
⑤中国新聞記者をお招きして、編集会議に加わっていただき、よりよい新聞作りをする。（2時間）
⑥職場体験新聞を、5年生に発表する。（2時間）

（留意点）
・職場体験前後には、グループごとに体験や質問内容の話し合いや報告を行うので、その準備を支援する。
・体験時の写真撮影や質問に重複がないよう、体験終了ごとに報告をし情報を共有できるようにする。
・新聞記者との学習では、予め質問内容や新聞の進行状況を知らせ、適切な助言がいただけるようにする。
・来年の6年生（現5年）に新聞を紹介することで、読者を意識した紙面作りをさせる。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

1年間を通じて、学んだことを新聞形式でまとめており、各自の新聞もグループごとの新聞も意欲的に取り組んでいた。特に、自分たちも取材をうけたことのある新聞記者の方との編集会議では、見出しの劇的な変化や読み手を意識した紙面作りの大切さを実感し、楽しい学習になった。

12. 成果と課題

新聞作りに加わって下さった記者の方が、児童との授業に【新聞作り 児童「なるほど」-柳北小6年に記者が手ほどき-】という見出しをつけて下さった。職場体験で得たたくさんの「なるほど」が、新聞作りの専門家である記者との出会いによって、さらに実感・納得を伴って的確に発信できる喜び「なるほど」に高まった。

一方、一人ひとりの新聞のよさがグループ新聞に生かされる反面、埋もれてしまうこともあるので、新聞のテーマに照らした、効果的な見出しや記事の選択がよりよい新聞作りの課題となる。